

# 学校だより

## ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

### 東日本大震災復興支援 雛祭りチャリティー茶会

昨年3月11日の大震災から早くも1年経過しよう

としています。未曾有の大震災に加え福島原子力発電所の事故が重なり、その復興が一日も早いことを祈らずにはられません。

この度、本校とショッピングジャパンとの共催で標記のお茶会を開催し、本校保護者をはじめとして当地のアメリカ人、日本人など多数の皆様がお出でになりました。

会場となった補習校図書館には高等部の生徒も参加して雛壇が設置され、茶席を設え、また生け花も配置されるなど、真に風情ある会場となりました。

また、たくさんの方々の持ち寄りによるベークセールも行われました。お寄せいただいた募金額の1800ドル余は総領事館を通じ日本赤十字社に寄付されることになりました。途中、主催者の1人として中島校長から米国人参加者らに対して、復興支援について感謝の意を評する挨拶がありました。

ご協力くださった皆様に心から感謝申し上げます。



### ひな人形づくり

3月3日(土)、幼稚園部の星組・宙組でひな人形づくりをしました。ペットボトルを利用し、真に愛らしい男雛と女雛が誕生しました。子ども達は生き生きと活動し、作った人形に話しかけるなど楽しく創作活動に親しんでいました。



星組横の廊下には、完成した男雛女雛が行列していました。

とても可愛い行列でした。

### 今、教室では・・・①

古今亭菊志ん師匠の落語会の感想や小学部3年生の三菱キャタピラフォークリフト工場見学発表報告会の感想が届きました。ドキドキしたり面白かったりした感想は読んでいて心温まるものがあります。

#### 《 続・古今亭菊志ん落語会感想 》

一つと八つ十木っ木っー!

小4B 杉谷胡桃(樽谷学級)

今日、六時間目に「落語会」がありました。日本から古今亭菊志んさんが、私たちに落語をするために、アメリカ・ヒューストンまで来てくれたのです。日本でもなかなか聞けないので、私は朝からとてもドキドキしていました。

菊志んさんは、はじめに「松竹梅」のおはなしをしてくれました。話の最後に所の、長者になるはずだったのに、大蛇になってしまった場面が面白かったです。

次に「平林」のお話をしてくれました。このお話では、子どもとだんな様の会話と平林の読み方をいろいろ変えてリズムに乗った言い方をした場面が面白かったです。(続・次頁)

次に「平林」のお話をしてくれました。このお話では、子どもとどんな様の会話と平林の読み方をいろいろ変えてリズムに乗った言い方をした場面が面白かったです。

その他にも、しつ問コーナーがありました。私が一番印象に残ったのは、そばとうどんの表現の仕方のちがいを見せてくれたところです。せんすを使って本当に食べている様で、すごいなと思いました。

今まで落語を聞いたことがなかったけれど、落語は楽しかったです。菊志んさんありがとうございました。

### 落語を聞いて

#### 小4 B 吉仲真輝(樽谷学級)

二月十八日に、古今亭菊志ん師匠の落語会がありました。ぼくは、落語を聞くことが初めてだったので、前からとてもわくわくしていました。

古今亭菊志んさんが、校長先生に、ステージの上上がるように言いました。校長先生は、そこで女性の真似をさせられることになりました。校長先生は、とてもはずかしそうだったので、少しかわいそうでしたが、ぼくはとてもおかしかったです。

落語では、「たいらばやし、ひらりん、一八十と木木(もくもく)、一つとは八つと十つ木っ木」などの言葉のリズムが面白くて、何回も笑ってしまいました。

話の内容は少しむずかしくてわからない所もありました。全体としては楽しむことが出来ました。

ぼくがもう少し大きくなったら、落語を聞きたいです。それは、大きくなったら、落語のことがもっとわかるようになっていっていると思ったからです。

## 今、教室では・・・②

### 《三菱キャタピラフォークリフト工場見学発表報告会》 社会科きんちょう発表会

#### 小3年A組 甲斐 水葵(安田学級)

2月25日、社会科工場見学の新聞発表会がありました。「A組、一ばん。」いよいよ発表です。この日までに、どんだけがんばったか、それを考えるとせいこうさせたいです。発表は、はん長からどんどん進んでいきます。あっという間に私の「三びしグループ」の発表の番でした。

1つ前の竹田君の終わった後すぐ、自分の発表を始めました。三びしグループしょうかい。「少しだけきんちょうして、声が小さかったかな。」と思います。本当は読むことに集中して、分かりませんでした。それでも、最後ははく手がもらえてすっきりしました。

後で先生に聞くと、5分以内に発表できていたので安心しました。

帰るときの車の中で考えた事は3つ、「これからの発表会の仕方」、「そして成功したことの安心さ」、最後に「両親が間に合わなくてごんねんな思い」でした。

### 社会科見学の発表会

#### 小3年B組 寺田 怜矢(大津学級)

今日、社会科見学の発表会がありました。

ぼくは、三年B組二はんで、フォークリフトについての説明を侑大君と半分ずつやりました。

ぼくは、はじめは少しきんちょうしたけれど、説明している時は、きんちょうしませんでした。

ぼくの番が終わった後は、「はあ、やっと終わった。」と思いました。

ほ習校から帰る時、ぼくのお母さんが、「ちゃんと聞こえたよ。」と言ってくれたので、よかったです。

### 新聞発表会

#### 3 C 岡 奈津美(縄手学級)

今日、図書室で新聞発表会を開きました。わたしは一時間目からきんちょうしていました。でも、発表する番が来たら、落ち着きました。

わたしは、一生けん命練習をしてきたから、ぜったいにせいこうすると思いましたが、お母さんにあとで聞いたら、「みんなの声が少し小さかった」と言われました。でも、発表のし方はじょうずだったと言ってくれました。わたしは、二年生のときから、工場見学をすることが楽しみでした。

楽しい見学をし、いい発表ができて、とてもうれしかったです。

発表前の緊張感や発表後の安堵感などよく伝わりました。よくがんばりましたね。(校長先生より)

### ◆パトロール当番予定表3月17日◆

今年度最後の当番です。1年間ありがとうございました。来年度もよろしくお願いします。

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	中1	1 3	谷本慎司
		2	1 4 村上弘樹
		3	1 6 白 昇
		4	1 7 山田若菜
		5	1 8 坂本和真
		6	1 9 三浦治樹
		7	2 1 中邑勇介
★PM1リーダー	中1	2 2	ロバーツ ジェニファー
		2 3	副田海斗
		3	2 4 出崎日菜笑
		4	2 5 大瀧萌々花
		5	2 6 富岡利彩
		6	2 7 木下颯乃
	中2	1	赤松和紀

## 今、教室では・・・③

中学部2年生国語(宗吉教室)では「視点を変えて書こう」と言う学習を行いました。生徒達の特異な視点をご紹介します。

ふでばこ から

中2 生沼 大芽(宗吉国語教室)

いつごろから使われているのか忘れてしまうほど長く使われているのか、ただ単に私の記憶力が悪いのかよく分からないが、できるだけ前向きに考えたいので前者ととらえることにしたいと思う。そんな曖昧な私の記憶の中に一つだけはっきりと残っているのが、初めて彼女と会った時のことだ。

箱のようなものに入れられて彼女のもとに届けられたから確実ではないが、夏だったような気がする。私は「日本」という所で彼女の祖母に買われて、「アメリカ」に住んでいる彼女のもとに届けられたらしい。そのことだけがその時に理解したことだった。確かに私が子どもだった頃のことを思い出すと、「日本」と呼ばれる所のスーパーで陳列されていたような、彼女の家とは全く違う家で本と一緒に箱の中に入れられているような記憶が、霧がかかったようにぼんやりとだがあった。

初めて見た彼女の第一印象は、「失礼な奴」だった。私に見向きもせず、同じ箱の中にあつた本や漫画を手に取り、ふらふらと部屋に戻っていった彼女の態度に、まだ子どもだった私は、ひどく憤慨したのを覚えている。しばらくすると、本を読み終えて退屈したのか彼女がまた私の入っている箱の方に歩いてきた。そして、箱をのぞいた彼女が私を乱暴につかんだのを感じて、やっと私を自分のために送られてきた物だと認識したのか、と怒りを通り越してあきれてしまったのは仕方ないことだった。それから何が起こったのか、何をしたのか、されたのかは覚えていない。きっと中に文房具をたくさん入れられ、その文房具も時々何かが足りなくなったりした時は、私と同じように彼女は祖母に頼んだりしていたのだと思う。

いつからか私の彼女に対するマイナスな感情は減っていき、次第に彼女への親しみや、彼女が私に対して愛着を持ってきていることへの幸せを感じていくようになった。長く使われていて次第に思うようになったのだが、彼女は物をできるだけ無駄にしないようにしているように感じられる。消しゴムは使えなくなるまで使うし、シャープペンシルも壊れたらできるだけ直そうとする。

ほんの些細なことだが、それができる彼女を私は尊敬している。もちろん物を無駄にしないその性格によって、私はこんなに長く使ってもらっているということを誇りに思っている。

もう古くなった私を彼女があとどれくらい使ってくれるかはわからない。もしかしたら明日にはもう彼女の手元に私はいないかもしれない。しかし、まだまだ私を大切にしてくれる彼女見ているとそんな不安も薄れる私がいる。

弟から

中2 大熊 一誓(宗吉国語教室)

僕の兄はチビだ。日本でも前から五番目だったなんでもいつも言っている。今の僕は兄が同じ年だったときより少しだけ高い。

僕の兄は僕が知っている限り、暴走屋で熱血屋だ。そして、自惚れやでもある。何かといいことを見つけ来ては僕を引っ張り出して、一緒に見に行ったり、遊んだり。兄の悲しんでるときはあまり見たことがない。

このごろ命令ばかりするようになってきた。今まででもそうだったのだが、最近は何故か嫌だ。あれをしろ、これをしろと言う。片付けろ、と言うわりに自分の部屋はちらかっている。口答えをするとたくさん叱られる。怒ったら怖い。あんまり怒らせてしまうと口を利いてくれないし、手伝ってくれないからいつも僕が我慢すればいいんだって思うけれど、やっぱりけんかしている時はどうしてもそんなことは気にすることができない。お互いが必死で、どちらかがあきらめるまでずっとけんかを続ける。母が止めるか僕が負けるか、いつもそんな感じだ。何でけんかをしたのか忘れることも少なくない。

僕の兄はいろいろなことを知っている。僕も大きくなったら分かるようになる、といつも言っている。だから、宿題が分からないと教えてくれる。教え方も怖い。スパルタ式って言うらしい。すごく怖い。でも、いつも終わったら、良くやった、お前も俺の弟だからな、なんて言って頭をなでしてくれる。

宿題が終わると一緒に遊ぶ。いろいろするが、一緒にテレビゲームをすることが多い。日本だとよく釣りに行った。そこで兄は鯰を釣って帰る。みんなに鯰坊主って呼ばれることもあった。

兄は好きなことには一生懸命がんばる。ずっと続ける。うまくいくまで。どんなことにも進んで行く兄みたいになることを僕は僕の目標としている。

## バイオリンの日記

### 中2 前田 真耶 (宗吉国語教室)

2月22日。まえだまやがバイオリンを弾き始めて10年ぐらいたったようだ。フルサイズ(私)を手にしたのは2年前ぐらいか。時間がたつのは本当に早い。

2月23日。やつは私を置いて学校に行ってしまった。しかし、好都合！我が家に来て間もないピアノ殿と一日中雑談できて本当に楽しかった。ピアノ殿もかなり苦労している様子。彼の主は8才の坊や。若いためか落ち着きがなく、スイッチが入らないとまじめに向き合ってくれないのだという。ああ、やつもそうだったな。

2月24日。やけに張り切っている。どうしたものか。曲のペースも早く、躍動感がある。昔の昔は力強さがなく、ひ弱に聞こえがちだった。楽器自体を響かせることも知らなかったらしい。少しずつだが上達しているようだ。

2月25日。……。やつはころころ変わる。曲を弾く時もそう。昨日とは打って変わって今日はべそをかいていた。ぶつぶつ文句を言いながら音程の狂った音を適当に弾き、慣れない手つきで弦をおさえる。姿を見る限りやつはライバルのテクニックを真似ようとしているのだろう。練習をすれば結果はついてくる、なんて臭いセリフを吐こうとしたが、一人では音も出せない事に気づき、あきらめた。

2月26日。最近思う事がある。私達楽器は演奏する主が変わると音も変わる。やつはその事に気づいているだろうか。音を創るとでも言えばいいのかな。よく分からない。とにかく自分なりに練習して、経験して、挑戦して、やつだけが出せる音を持ってほしいと思った。

2月27日、いつものように学校に向かったやつの顔はヌケていた。何を考えているのか皆目見当もつかない感じだ。こんなやつに音を創り出す事ができるのか。それはやつ次第だろう。私はいつでも手助け出来る様にピアノ殿の横で話でもしながら待機する事にする。

## 相棒

### 中2 小倉 涼生 (宗吉国語教室)

僕は涼生のグローブだ。彼は僕を野球の中で相棒と言っているし、僕も彼を相棒だと思っている。

守備をする時の僕たちの息はすごく合っていて、後ろにボールを逸らすなんて事はまずない。

彼の守備は一流品だ。でも、それも僕がいないと出来ない事なんだけどな。

そう言えば最近強いチームに入ったんだ。今は二塁手をやっていてチームメイトからも守備はうまいと言われているんだ。

でも、彼がうまくなるにつれて僕に届く球が速くなってきて取るのが痛い。それを彼はいまいち理解していないんだ。

試合や練習が終わったら僕をきちんと磨いて手入れをしてほしい。めんどうくさがらずにね。

でも、いけない事はそのぐらいで今からも僕たちはすぎまじく成長することだろう。楽しみしててくれよ。

## 東日本大震災一周年追悼について

この度、日本国政府において閣議了解された「東日本大震災一周年追悼式の当日における弔意表明について」、次の通り通知がありましたので保護者の皆様にご案内申し上げます。

平成24年2月24日  
閣 議 了 解

東日本大震災一周年追悼式の当日(3月11日)には、哀悼の意を表するため、次のとおり措置するものとする。

- 1 各府省においては、弔旗を掲揚するとともに、各公署、学校、会社その他一般においても同様の措置をとるよう協力方を要望すること。
- 2 国民各位に対して、本追悼式中の一定時間(午後2時46分)に黙とうを捧げるよう協力方を要望すること。

上記の通知を受け、ヒューストン日本語補習校では、授業日である3月10日(土)、始業前の午前9時から全校園児、児童生徒、教職員並びに校舎内にいるすべての人たちに呼びかけ、黙とうを捧げることにしました。

被災から1年間経っても、未だ親子兄弟姉妹をはじめ親しい友人などのが見つからない方々が多くいます。

がれきの処理や放射能の除染作業も行っているものの、自宅に帰っての生活が出来ない多くの方々がいまいます。

私たちはそのような悲惨さに耐え、乗り越えようと頑張っている人たちに対し、どのように寄り添い、何を為すべきであるかを自らに問い、活動を展開すべきであろうと思います。

人それぞれに支援の内容も方法も異なろうかと思いますが、被災地や被災者に熱い思いを寄せて、出来るところから支援をしていくことが、同時代に生きる人間の為すべきことと思っています。

今後も、ヒューストン日本語補習校としてできる支援について考え続け、そして行動したいと思っています。

